

選択した講義の内容です

令和5年度

操作ボタン

印刷

講義科目名称 : 生命論 (仏教から見たいのち)
英文科目名称 : Life Studies

授業コード : C1010

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
古川 潤哉[Junya Furukawa]			
人間コミュニティ学科	講義		
添付ファイル			

授業の概要・授業のキーワード	現代における「いのち」に関する様々な問題を考えます。「いのちの大切さ」はよく言われますが、私たちは「誰のいのちが、なぜ、どのように大切なのか？」を具体的に問う機会が無く、ただ漠然と受け止めていないでしょうか。生が良いことで死が悪いことという価値観では、最後みんな悪い結果に終わることになります。この生命論では、「生老病死」をキーワードに、人(自分)が生きること、死ぬことを考えます。また、生まれてきたこと、産むことを含め、性とセクシュアリティについても学べるようになっていきます。皆さんの今のいのちの問題となる話題も含め、グループディスカッションで考えを深めます。 授業のキーワード：生老病死(the-four-inevitables-in-human-life-birth-aging-sickness-and-death)、セクシュアリティ(sexuality)、LGBTQ/SOGI
授業計画	<p>第1回 はじめに 「生と性と死」の基本的考え方について 仮登録期間でもあるため、中学校で実施している「生と性と死」を考える授業を基に、この講義で取り扱う現実的な生老病死や恋愛など身近な話題を通してこの講義の概要と進め方をお伝えします。受講を迷う方はこれを本登録の参考にしてください。 事前学修: シラバスを見て気になる項目について調べる (2時間) 事後学修: 講義で気になった項目について調べる (2時間)</p> <p>第2回 仏教から見た「いのち」 現代のいのちを取り巻く状況と生きづらさを考える 事前学修: どんな問題があるか考え、調べる (2時間) 事後学修: 配付資料 (1) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第3回 「生」にまつわる問題 (1) いのちの事実としての生老病死 事前学修: 人間に生まれるとはどういうことか考えておく。生老病死について調べておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (2) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第4回 「生」にまつわる問題 (2) こどもを産むこと、選ぶこと。出生前診断を考える 事前学修: 出生前診断について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (3) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第5回 「生」にまつわる問題 (3) 人工妊娠中絶を考える 事前学修: 妊娠中絶について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (4) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第6回 「生」にまつわる問題 (4) 障がいを考える 事前学修: 障がいについて調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (5) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第7回 「生」にまつわる問題 (5) いのちをいただく-生きることは食べること。食べることは殺すこと- 事前学修: 「いただきます」について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 絵本「いのちをいただく」の感想をまとめる。講義で気になった項目について調べる (2時間)</p> <p>第8回 「老」にまつわる問題 老とは何か、老の現実。どのように老を受けとめるか 事前学修: 老いとは何か調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (7) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第9回 「病」にまつわる問題 (1) 病に対するさまざまな態度に学ぶ 事前学修: 健康とは何か調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (8) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第10回 「病」にまつわる問題 (2) DVD「瞳スーパーDX」をみて考える 事前学修: 猿渡瞳さんについて調べておく (2時間) 事後学修: DVD「瞳スーパーDX」の感想をまとめる。講義で気になった項目について調べる (2時間)</p> <p>第11回 「病」にまつわる問題 (3) 生命倫理を考える 事前学修: 安楽死と尊厳死について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (10) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第12回 「死」にまつわる問題 (1) 死とは何か、脳死とは何か 事前学修: 脳死について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (11) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第13回 「死」にまつわる問題 (2) 脳死と臓器移植 事前学修: 臓器移植について調べ、考えておく (2時間) 事後学修: 配付資料 (12) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第14回 「死」にまつわる問題 (3) 緩和ケア・ホスピス(ピパーラ)・尊厳死</p>

	<p>事前学修: 緩和ケアについて調べ、考えておく (2時間)</p> <p>事後学修: 配付資料 (13) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>事前学修: これまでに学んだことを振り返ってみる (2時間)</p> <p>事後学修: 配付資料 (14) を見直し、気になる項目について調べる (2時間)</p>
関係資格	
科目に関する担当教員の実務経験内容および年数	古川潤哉: ホスピス・緩和ケアへの関わり、HIV/AIDSに関する援助、思春期の性に関する援助など、僧侶として、市民活動として20年ほど関わりがあります。(相談業務も含む)
ディプロマ・ポリシーに関わる項目	人間コミュニティ学科DP1: 建学の精神を理解し、現代社会に対する深い知識とそれを表現する能力を身につけるために規定の「教養科目」を修得している。
到達目標	<p>自分のこととして生老病死を考えることができる。</p> <p>今ある私のいのちの問題に気づき、目を向けることができる。</p> <p>性やセクシュアリティの多様性と自己のアイデンティティについての考え方を理解することができる。</p>
成績評価基準・方法	平常点 50% レポート 50%
学修方法	講義 (テキストと配布する資料) 形式により進めるが、適宜問題を投げかけ、理解を深めるようにする。
担当者からのメッセージ	<p>中学校、高校などで仏教的観点から、「生と性と死」をテーマとした性教育授業を行っています。この生命論も他人事ではなく、私自身の問題として、単位取得のみならず、実際に現代社会を生きていく上で役立つものにしていきたいと考えています。特にこの講義では、皆さんの年代で必要とされるにもかかわらず小中高校では教わらない性の課題と生殖医療、健康と生き死について重点的に考えていきます。</p> <p>本授業は、今学期対面授業で実施する予定ですが、状況に応じて遠隔授業で実施することがあります。</p>
テキスト・参考文献	毎回資料を配付する
オフィスアワー	授業の前後の休み時間に教室または非常勤講師控え室にて。質問等はメールなどオンラインにも対応。

↑ ページ先頭へ戻る

閉じる